

うつのみや



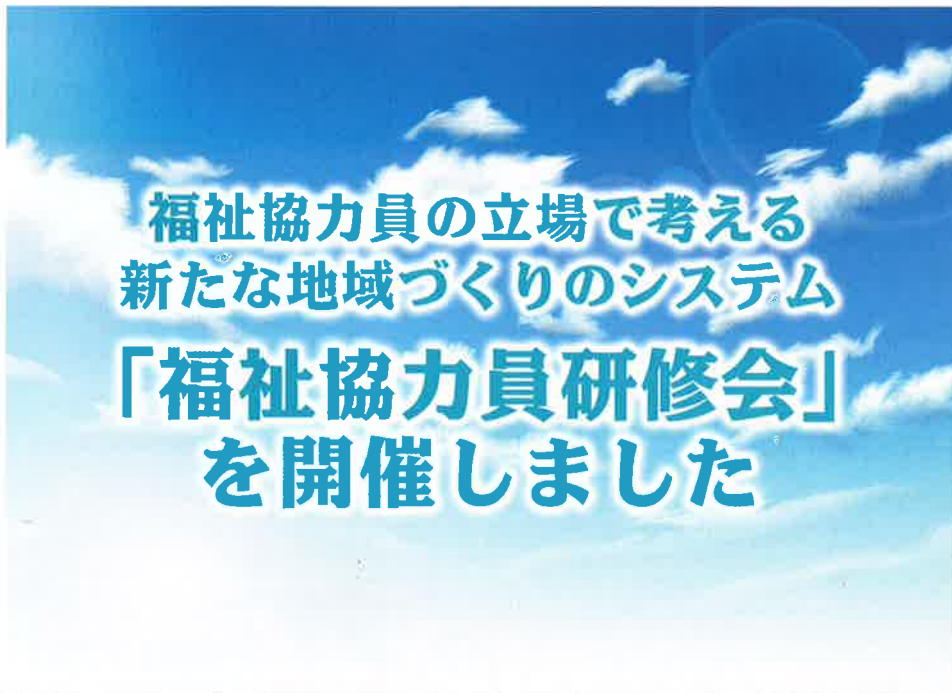
社協だより

平成26年4月20日発行

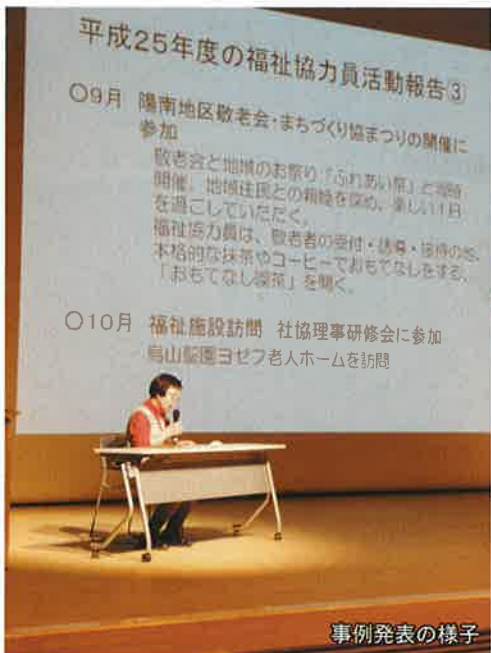
編集発行 **152号**

社会福祉法人
 宇都宮市社会福祉協議会
 宇都宮市中央1丁目1番15号
 宇都宮市総合福祉センター内
 電話 028-636-1215(代)
 FAX 028-638-9856
<http://www.utsunomiya-shakyo.or.jp>

宇都宮市社会福祉協議会 検索



講演の様子



事例発表の様子



研修の様子

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、市内を5ブロックに分け福祉協力員研修会を開催しました。

表題の講演や、実際に活動している福祉協力員の方々からの身近な活動事例発表に、参加された方々は、真剣な眼差しで耳を傾けていました。

“うつのみや社協だより”は、「回覧」です。よろしくお願い申し上げます。

「平成25年度ブロック別福祉協力員研修会」

福祉協力員の立場で考える、新たな地域づくりのシステム
～ひとりの不幸も見逃さない地域包括ケアシステムとは～



今回の研修会は、上三川町社協上三川町地域包括支援センター係長高田美保氏による講演と、地域で実際に活躍されている福祉協力員の方々に活動事例を発表していただきました。5ブロック合計で約830名の皆さんにご参加いただき、今後の活動につながる大変有意義な研修会となりました。

◀高田美保氏による講演の様子

中央ブロック研修会の様子



(中央・築瀬・西・西原・東・昭和・錦 / 7地区)
事例発表: 東地区福祉協力員連絡会

西部ブロック研修会の様子



(桜・富士見・宝木・明保・姿川・城山 / 6地区)
事例発表: 城山地区福祉協力員連絡会

北部・上河内・河内ブロック
合同研修会の様子



(戸祭・細谷・豊郷・国本・富屋・篠井・御幸・御幸ヶ原・上河内・河内 / 10地区)
事例発表: 河内地区福祉協力員連絡会

～参加者の皆さまの感想～



身近にある事例が参考になり、考えるところが大いにあった。ネットワークの大切さを知りました。



事例発表のとおりでと思うが、家庭内にはなかなか入っていけない。どこまで入っていけば良いのか線引きが難しいときがある。



他地区の活動事例を聴いたり、話し合いができたことが良かった。もっと他の福祉協力員の困っていること、嬉しかったこと等意見交換をしたいと感じた。



自分自身が訪問する時や声かけなど、まだまだ勇気があることだと感じます。自分が変わらなければいけないと思いました。



遠くの親類より近くの他人が力を出し合い、助け合う時代だと思います。しかし、地域全体が高齢となってきており、高齢者が高齢者の面倒を看ている状況です。若い人たちがもう少し地域に関心をもってくれればと思います。

東部ブロック研修会の様子



(城東・今泉・峰・泉が丘・陽東・石井・平石・清原 / 8地区)
事例発表: 清原地区福祉協力員連絡会

南部ブロック研修会の様子



(宮の原・陽南・緑が丘・陽光・五代若松原・雀宮・横川・瑞穂野 / 8地区)
事例発表: 陽南地区福祉協力員連絡会

福祉協力員とは？

同じ地域で暮らす住民として、見守りや声かけを行うなど「住民相互の支えあい運動」を推進している地域のボランティアです。地区で行う「ふれあい会食会」「地区福祉まつり」「ふれあいいきいきサロン事業」「安心・安全情報キット配付事業」など、地域の様々な福祉活動において活躍しています。

地区社協活動紹介コーナー 《お問い合わせ》地域福祉課

TEL 636-1215

FAX 637-2020

各地区社協が取り組んでいる地域福祉活動(事業)について、ご紹介します。



泉が丘地区 社会福祉協議会

泉が丘地区は、JR宇都宮駅の東側に位置し、市の障がい複合施設「泉が丘ふれあいプラザ」があり、高齢者のみならず、障がい者にもやさしい地区です。

地区内にある、泉が丘小学校と泉が丘中学校は同一敷地内に隣接しており、地域における子育てや青少年育成の取り組みが盛んな地区でもあります。

～歳末たすけあい配分事業「餅つき大会」～

地域の方々の交流事業として、地域の関係機関・団体との連携・協働のもと、1月26日に「餅つき大会」を開催しました。泉が丘中学校の生徒もボランティアとして運営に携わっていただきました。今年は500人を超える方々にお越しいただき、つきたてのお餅やおしるこを食べながら、世代を超えた“温かな交流”が図られました。



～ふれあい・いきいきサロン「いきいきサロンエビス会」～

泉が丘コミュニティセンターや中今泉5丁目東公園で、自治会や福祉協力員、また地域包括支援センターなどの協力を得ながら、週3回程度開催しています。そば打ちや健康体操、カラオケや輪投げなど、バラエティにとんだプログラムに、毎回多くの方々にご参加いただき、たいへん喜ばれています。

五代若松原地区 社会福祉協議会

五代若松原地区は市の南部に位置し、平成6年度に雀宮地区社協から分離独立した地区です。地区の東側にJR雀宮駅、北側を宇都宮環状線、南側を県道184号(安塚街道)に囲まれた交通の便利な地区となっています。また閑静な住宅地であると同時に、地域住民と小中学校はもとより、幼稚園・保育園との交流が盛んなことから、子どもたちの元気な姿を見ることが多い地域でもあります。



～子どもたちと一緒に過ごす喜びを「ふれあい会食会・敬老会」～

地域の高齢者の方をお招きするふれあい会食会や、敬老会などの行事を、地元のすずめ幼稚園に会場をお借りするなど、ご協力を得ながら開催しています。高齢者の方々と園児たちとの交流を積極的に進め、給食を一緒に食べたり、園児たちによるダンス等の演技も披露されます。園児たちの一生懸命な姿に、涙を流して喜ばれる方もいらっしゃるなど、楽しい時間を過ごしていただいています。



～多様な活動で多くの方の憩いの場に「みどり野ふれあいサロン」～

「みどり野ふれあいサロン」は、老人クラブみどりの長寿会、自治会役員、民生委員児童委員、福祉協力員が協力して、運営されています。毎週水曜日(ただし、第5水曜日は除く)に開催され、自由に団らんする時間や、健康体操・外世代交流・絵手紙・折り紙など様々なテーマの時間を設定し、多くの方が参加できるサロンとなっており、交流の輪が広がっています。



平成
26
年度

宇都宮市社会福祉協議会

事業計画・予算



3月20日開催の理事会、3月27日開催の評議員会において、平成26年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

本会では、「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、共に支えあい、助けあいながら、安心して暮らし続けることができる“向こう三軒両隣り”の地域社会の実現を目指し、地域福祉推進の中核的組織として、地域の様々な福祉課題に向き合い、行政や関係機関・団体等と協力しながら、より一層の地域福祉の発展に尽力してまいります。

● 事業計画

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の充実
 - (ア) ボランティア体験プログラムの実施
 - (イ) ボランティア入門講座の開催（ぼらんていあSaturday）
 - (ウ) 学生ボランティアの養成（サマーボランティアスクール）

(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座の開催

- (オ) 傾聴ボランティア養成講座の開催
- (カ) コミュニティフレンド養成講座の開催
- (キ) サンタクロースアカデミーinうつのみやの開催
- (ク) 福祉共育サポーター養成講座の開催
- ②出前福祉共育講座の充実
 - (ア) 出前福祉講座連絡会の開催
 - (イ) 福祉共育、ボランティア推進フォーラムの開催
 - (ウ) 福祉共育副読本、DVD作成事業

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実
- ②老人福祉センターの機能の充実
- ③障がい福祉施設機能の充実
- ④地区福祉まつり支援の充実
- ⑤男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター事業の充実
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ①権利擁護センター（あすてらす）事業の充実【県社協委託事業】
- ②法人後見事業の実施【新規事業】
- ③成年後見制度理解啓発講座の実施

④介護保険事業等の充実

- (ア) 訪問介護事業の運営
- (イ) 通所介護事業の運営
- (ウ) 居宅介護支援事業の運営
- ⑤地域包括支援センター事業の充実
- ⑥障がい者福祉サービス等の利用計画作成（計画相談支援・障がい児相談支援）事業の運営
- ⑦福祉車両貸出サービス事業の推進
- ⑧車いす等福祉機器・機材の貸出事業の推進
- ⑨移送サービス事業の実施
- ⑩福祉理美容出張補助サービス事業の推進
- ⑪ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ⑫福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑬生活福祉資金等貸付事業の実施【県社協委託事業】

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
- ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進
- ④安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑤ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進
- ⑦福祉団体・福祉施設の連携・協働の推進
- ⑧まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進
- ⑨ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) ボランティアの相談・登録・調整
 - (イ) ボランティア団体への活動支援の推進

(ウ) 中間支援組織との連携強化

- (エ) ボランティア研修会の開催
- ⑩災害ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施
 - (イ) 災害情報の収集・発信
 - (ウ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ研修
- ⑪ファミリーケアサービス事業の充実

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①小地域福祉活動計画策定の検討
- ②福祉協力員制度の推進
- ③社会福祉協議会会員制度の充実
- ④ぎんなん基金事業の充実
- ⑤善意銀行事業の促進
- ⑥敬老会事業の充実

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センター（5施設）
 - ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘
 - 上河内
- ②地域活動支援センター（3施設）
 - 雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③総合福祉センター（2施設）
 - 宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター

(2) 市からの受託事業の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
- ②地域包括支援センター事業（2箇所）
 - 地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業（3箇所）
 - あっとほーむすすめ・うだい・かわち
- ④身体障がい者福祉バス事業
- ⑤奉仕員養成講座（手話・音訳・点訳）
- ⑥要約筆記者派遣事業
- ⑦移動支援事業

●収支予算

(1)社会福祉事業

①法人運営	259,572千円
②福祉活動推進事業	40,093千円
③ボランティアセンター事業	12,302千円
④総合相談センター事業	4,159千円
⑤権利擁護センター事業	9,343千円
⑥ごんなん基金事業	26,660千円
⑦善意銀行事業	1,200千円
⑧共同募金配分金事業	45,650千円
⑨生活福祉資金貸付事業	8,484千円
⑩社会福祉資金貸付事業	3,064千円
⑪老人福祉センターの運営	214,287千円
⑫地域活動支援センターの運営	43,957千円
⑬障がい者福祉センターの運営	36,516千円
⑭宇都宮市総合福祉センターの運営	75,612千円
⑮河内総合福祉センターの運営	56,871千円
⑯訪問介護事業	58,970千円

⑰通所介護事業	29,241千円
⑱障がい者居宅・生活介護事業	10,869千円
⑲居宅介護支援事業	24,077千円
計	960,927千円

(2)公益事業

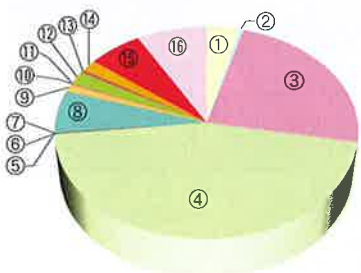
①地域包括支援センター御本丸の運営	32,749千円
②上河内地域包括支援センターの運営	32,582千円
③身体障がい者福祉バス事業	9,069千円
④障がい者生活支援事業	16,268千円
⑤日中一時支援事業	24,545千円
⑥ファミリーケアサービス事業	9,458千円
⑦移送サービス事業	982千円
計	125,653千円

(1) 社会福祉事業

収入

960,927千円

(単位:千円)

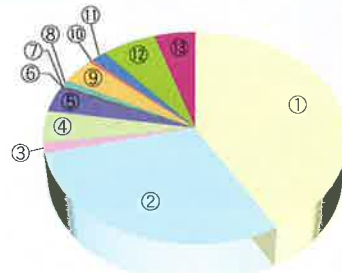


①会費収入	36,450
②寄附金収入	4,701
③経常経費補助金収入	226,396
④受託金収入	435,784
⑤貸付事業収入	204
⑥事業収入	985
⑦負担金収入	50
⑧介護保険事業収入	62,989
⑨障害福祉サービス等事業収入	10,846
⑩受取利息配当金収入	2,413
⑪その他の収入	186
⑫積立資産取崩収入	19,496
⑬事業区分間繰入金収入	3,444
⑭拠点区分間繰入金収入	17,626
⑮サービス区分間繰入金収入	60,435
⑯繰越金	78,922

支出

960,927千円

(単位:千円)



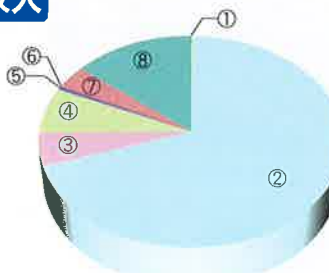
①人件費支出	400,884
②事業費支出	282,836
③事務費支出	15,549
④共同募金配分金事業費支出	45,650
⑤助成金支出	38,289
⑥負担金支出	1,424
⑦固定資産取得支出	253
⑧投資有価証券取得支出	10,000
⑨積立資産支出	36,981
⑩事業区分間繰入金支出	4,518
⑪拠点区分間繰入金支出	17,626
⑫サービス区分間繰入金支出	60,435
⑬予備費	46,482

(2) 公益事業

収入

125,653千円

(単位:千円)

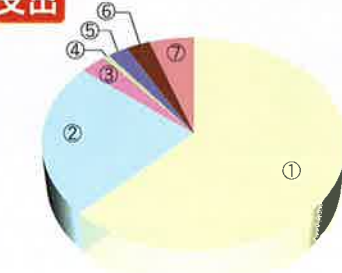


①会費収入	85
②受託金収入	87,618
③事業収入	6,337
④介護保険事業収入	8,719
⑤障害福祉サービス等事業収入	668
⑥受取利息配当金収入	2
⑦事業区分間繰入金収入	4,518
⑧繰越金	17,706

支出

125,653千円

(単位:千円)



①人件費支出	78,346
②事業費支出	29,519
③返還金支出	3,839
④固定資産取得支出	893
⑤積立資産支出	3,000
⑥事業区分間繰入金支出	3,444
⑦予備費	6,112

お知らせ

宇都宮市社会福祉協議会の組織が一部変わります。

本会では、平成26年4月1日より、上河内支所及び河内支所業務を本所に統合一局集中させ、限られた経営資源を地域福祉事業に重点化し、円滑効果的に事業を推進してまいります。

なお、上河内老人福祉センター及び河内総合福祉センターの業務につきましては、従来どおりの運営となりますので、今後ともよろしくお願いたします。

ボラセン
情報コーナー

ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します☆



ワスレナイ&オモイツタエル3.11



東日本大震災から丸3年…私たちの記憶を風化させないためにも、「忘れない」そして「想いを伝える」ための2つの事業を開催しました。

もう一度あの記憶をふり返り、「助けあい」「支えあい」について考えてみましょう。

ワスレナイ3.11 宮城県石巻市スタディツアー

平成23年4月、宇都宮市社協では市民の皆さまとともに、宮城県石巻市での泥出し作業など、復興支援のボランティア活動を行いました。あれから3年、石巻市ではどのような復興の道を歩み、課題があるのかを「知る」ためのスタディツアーを開催しました。当時、災害ボランティアとして支援していただいた皆さまなど、33名が参加し、被災地の今を感じるツアーとなりました。



H23. 4. 30ひまわり
保育園での活動の様子

石巻市民の皆さんによる「語り部」

「震災を千年先まで語り継ぐ」との想いから始まった語り部。被災した市民の方から3.11の様子を伝えていただきました。



語り部の様子

ひわまり保育園と3.11



震災から3年、園長先生の話に耳を傾ける参加者の様子



園児と笑顔でふれあう様子



慰霊に手を合わせる参加者の様子

オモイツタエル3.11 ともしびプロジェクト in うつのみや

「忘れられることが一番怖い…。」被災者の方が発した言葉から生まれた被災地への想い「忘れないをカタチにする」キャンドルアートプロジェクト。毎月11日にキャンドルに希望の光を灯す「ともしびプロジェクト」を、ともしびプロジェクト宇都宮支部とのコラボ企画として実施しました。それぞれの思いを灯したキャンドルを前に、参加者どうし被災地への思いを新たに、今後も被災地を共に支えあう気持ちを分かち合いました。



“オモイ”をひとつに…



メッセージ入りの手作りキャンドル



キャンドルを囲み黙とう



キャンドルアート

平成26年度

ボランティア養成講座



ボランティアセンターが、平成26年度に開催する各種ボランティア養成講座をご案内します。講座の詳細や申込方法などは、随時「社協だより」「ボランティアセンターホームページ」「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

テーマで学んでみたい方

講座名	内容	開催予定
1 災害福祉救援ボランティア養成講座	東日本大震災から3年が経過しましたが、今や災害はいつ私たちの身に降りかかるかわからない状況と言えます。日頃からできる減災(災害被害を軽減すること)対策や、災害ボランティアについて学ぶ講座です。	6月～7月
2 サマーボランティアスクール	高校生や大学生を対象とした夏のボランティア体験講座です。たくさんの仲間と出会い、喜びや感動を分かちあい夏の思い出づくりに参加してみませんか?	7月～8月
3 傾聴ボランティア養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せずに受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。	9月
4 サンタクロースアカデミー in うつのみや	サンタクロースになるための「質問回答学」「プレゼント渡し方学」などを学び、講座修了後はクリスマスの時期に合わせて市内の高齢者・障がい者・児童施設等を訪問します。	11月
5 コミュニティフレンド養成講座	障がい者と活動や余暇をともにしながら、社会との関わりを広げていく「まちの中のともだち(コミュニティフレンド)」について学ぶ講座です。	平成27年1月
6 福祉共育サポーター養成講座	ボランティアセンターで実施している福祉共育推進のための出前福祉共育講座を、サポートしていただけるボランティアを養成する講座です。	平成27年2月

まずは、体験したい、知りたい方(ボランティア活動の体験プログラム)

講座名	内容	開催予定
1 ぼらんていあSaturday ~聴覚障がいの理解~	①「聞こえないってどんなこと？」 ②「手話を学ぼう」	7月
2 ぼらんていあSaturday ~発達障がいの理解~	①「発達障がいってなんだろう？」 ②「障がいのある子どもと一緒に遊ぼう」	12月
3 ぼらんていあSaturday ~精神障がいの理解~	「精神障がいってなんだろう？」	平成27年1月
4 エコキャップ運搬体験ボランティア	社協にお寄せいただいたペットボトルキャップ(エコキャップ)を車へ積み込むボランティア体験です。	毎月 第3土曜日



福祉共育サポーター養成講座



サンタクロースアカデミー in うつのみや

新コーナー! ボランティアセンター登録団体紹介

今号から、ボランティアセンターに登録している団体紹介のコーナーをスタート!

団体名: V・Gすずめ

代表者: 松本 カネ子

活動内容: 地域の居場所づくり
近隣住民の困りごと相談
青少年の健全育成
学校支援活動 など



活動拠点: すずめのお宿 (宇都宮市高砂町 25-15)
月曜日～金曜日 13:30～19:00
土・日・祝祭日 13:30～17:00
TEL / FAX: 028(656)2345

福島県白河市生まれの松本カネ子さんが、「なぜ地名が雀宮?」といった疑問や、「障がいのある子を持つ母親からの相談」など、自らが暮らす地域に対する素朴な疑問や地域にある問題に対する意識を持ったことから、志を同じくする近所の仲間と声をかけ昭和51年に「V・Gすずめ」は結成されました。

「自分を育ててくれた雀宮を良くしたい」、そんな思いを胸に、地域住民がいつでも気軽に集える場である「すずめのお宿」を活動拠点として、地域に根差した幅広い活動を続けています。

松本さんは語ります。「地域に住むすべての命あるものが“一緒に育ちあう”ことが相手を理解することに繋がる。自分は地域に活かされているということを常に自分自身に問いかけ、誰もが住みやすい地域づくりを続けていきたい」と。

～ 社協会費は、皆さまの地域の福祉活動を支えています～

平成26年度宇都宮市社会福祉協議会

社協会員にご加入をお願いいたします

宇都宮市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する構成員として住民、団体、法人の皆さまに会員になっていただき、会費のご協力をいただいています。社協会費は地域福祉活動の充実のために欠かすことのできない財源です。本年度も、事業計画に基づき、より充実した活動を展開して参りますので、本会の活動にご理解いただき、会員への加入にご協力をお願いいたします。

会員の種類と会費

- ・普通会員(各世帯) 300円以上
- ・特別会員(個人) 1,000円以上
- ・団体会員(社会福祉機関・団体・施設) 5,000円以上
- ・賛助会員(企業・事業所・個人) 10,000円以上



ありがとう
ございました

平成25年度は皆さまに**36,587,635円**のご協力をいただきました。

皆さまからお預かりした会費は次のような事業に役立てられます

地区社協が行う福祉活動のために

- ・福祉協力員による見守り活動(見守り・声かけ活動、ふれあい・いきいきサロン、安心・安全情報キット配付事業等)
- ・ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業
- ・敬老会事業 …その他、地区社協独自の事業などに

ボランティア活動の推進のために

- ・ボランティアの登録やコーディネート
- ・ボランティア情報の提供
- ・ボランティア養成講座や体験講座の開催

市社協が地域の福祉活動を支援するために

- ・地区社協活動への支援
- ・広報・啓発活動

相談事業推進のために

- ・総合相談センターの開設

在宅福祉サービス事業のために

- ・ファミリーケアサービス事業等

ぎんなん基金

～ご協力ありがとうございました～

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



平成26年1月1日～3月31日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)	金額(円)
すこやか荘 お客様一同	4,223
匿名	1,413
やすらぎ荘 お客様一同	11,135
フードオアシスオータニ鶴田店 お客様一同	7,642
公益財団法人全国友の会	30,000
宇都宮友の会	
南匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	10,000
なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	30,000
ことぶき会館 お客様一同	10,082
ステップ希望(のぞみ)	
会長 石川 孝子	14,450
三信電工(株)	10,060
築島 時三郎	2,000
陸上自衛隊北宇都宮駐屯地 隊員一同	80,426
陸上自衛隊北宇都宮駐屯地 いちご会	15,659
第7回宇都宮市民福祉の祭典 実行委員会 委員長 松本 カネ子	9,223
宇都宮大学教育学部附属小学校 PTA総務委員会	10,000
エルカホン(株) 大田 忍	10,000
宇都宮さつき&花フェア実行委員会	30,000
松が峰教会	10,000
ヨークベニマル若松原店 お客様一同	885
南匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	10,000

寄附者(団体)	金額(円)
三信電工(株)	7,810
グループホーム ハイブリッジ	500
桜井 倉三	500
福祉ボランティア サクラアイデア	500
築島 時三郎	2,000
山口 泰司	9,500
なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	25,000
宇都宮市地域婦人会連絡協議会	16,561
宇都宮市立雀宮南小学校(厚生事業部)	3,560
なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	15,000
長寿88講座福祉チャリティー	15,201
小杉オートサービス有志一同	9,800
中央地区こども茶道教室	22,550
ユニー(株)ピタ宇都宮店	34,714
中部地区吟剣詩舞道協議会 野中恵夫	10,431
福祉ボランティア サクラアイデア	150
福祉ボランティア サクラアイデア	1,200
築島 時三郎	2,000
三信電工(株)	7,820
スナガ サンアルプス栃木	2,230
一般社団法人 すまいるコンシェルジュ	1,110
茂原健康交流センター お客様一同	3,364
豊郷ダンススポーツクラブ	5,000

平成25年度の寄附総額

累計 **38,292,976円**

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

ご利用ください
社協の福祉サービス

ファミリーケア
サービス

家事援助などのサービスを希望する「利用会員」とサービスを提供する「協力会員」で構成する住民参加型在宅福祉サービスです。

◆利用対象者

家事援助を必要としている高齢の方、障がいのある方、妊産婦

◆サービス内容

食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、住居の掃除、生活必需品の買い物等

◆利用日時

月曜日～金曜日
(午前9時～午後5時)

◆入会金

会員制のため、入会金が必要です。

利用会員 3,000円
協力会員 1,000円

◆利用料金

1時間につき、860円

【お問い合わせ】福祉サービス課
電話 636-1215 FAX 610-6605